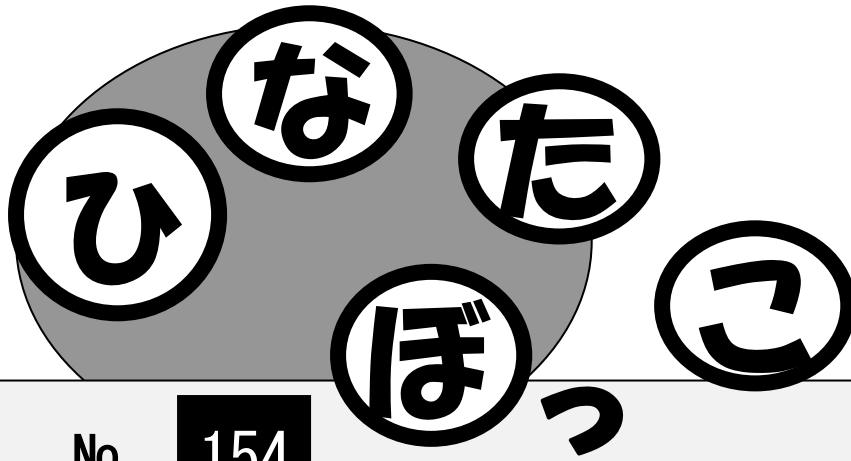




機関誌・ひなたぼっこ

2026年1月21日号(第154号)

■発行所 宮城県高齢者生活協同組合
(ささえあい生協宮城)

発行人 長尾 智美
(年間4回発行予定)

〒981-3203
仙台市泉区高森3-4-131

TEL 022-343-7655

FAX 022-343-7666



No. 154

E-mail: koreikyo@poppy.ocn.ne.jp

URL: <http://miyagi.koreikyo.jp/>

新年あけましておめでとう

理事長 伊藤恵仁

2026年が明けて間もない1月3日、アメリカは南米ベネズエラに突然軍事進攻し、一国の大統領マドウロ氏とその妻を拘束してアメリカに連れ去り、強制的に自国の裁判にかけました。全世界がこのトランプ政権の強行に驚いている間に、今度は、トランプ政権は、デンマークの自治領であるグリーンランドの領有に向け、米軍の活用を目指して、その領有の意図を表明しました。

これこそ帝国主義そのものです。こんな野蛮な帝国主義的進攻はとっくの昔、20世紀で終わったはずなのに、新年早々の蛮行。高市首相は一言の抗議もしません。その姿に、トランプ大統領の訪日の際、アメリカの原子力空母の上でトランプ大統領の腕にすがって、ぴょんぴょん飛び跳ねていた高市首相の姿が重なります。このトランプのもとで、これか

らの世界はどのようなのか?そんな思いに震撼とさせられた年明けの出来事でした。正直、信じられないような世界の事態です。おまけにトランプは、この日、気候危機に対処する国連の枠組みをはじめ、世界の平和と経済危機や、あらゆる世界的共同の枠組みから脱退することも表明しました。一体この後21世紀の世界はどうなるのか。私たちは今年、こうした世界の危機的事態を十分念頭に置いて暮らさなければなりません。

しかし、私たちの足元にある高齢協の運動は、まだまだ困難はありますが、私たちは昨年、かすかに明るい展望を切り開いてきました。高齢協の運動は、メンバーの高齢化もあり、会員数の伸びが鈍化し、会費収入なども停滞していますが、活動に伴う事業収入はわずかながら前進しました。

特に高齢者施設の運営は着実に前進しています。高齢者の介護需要はそれだけ高まっているのです。

昨年、施設の老朽化もあって、十分な運営でならなかった、泉中央老人福祉センターも「センター祭」に見られ

た地域の利用者のエネルギーは意気盛んなものでした。高齢者は決して受け身ではない。自らそのエネルギーを燃やし尽くすことを求めているのだということを彷彿と感じさせるものでありました。

介護保険の充実を求める運動では、昨年全国のサービス事業者を支払われる介護報酬の2.03%の引き上げを政府に実現させました。これは、全国の高齢者施設、高齢者団体が介護職員の「全産業平均」並みの処遇改善を求めて精力的に運動を展開してきた成果です。課題はまだ残っています。今年もともに頑張ります。



各事業所からの報告

仙台市泉中央老人福祉センター

今年の「センター祭」は、老人福祉センターが開館して50年目の記念イベントとして開催しました。2日間で340名の来館者で賑わいました。目玉企画として外れなしの大抽選会を実施し、豪華な景品に会場が盛り上がりました。この抽選会には多くのサークルからも景品の協賛をいただきました。

舞台発表、展示発表は口頭の成果を存分に発揮いただきました。

オープニングは銭太鼓から始まりフラダンスや六和功、カラオケサークルのみなさんの歌声披露などの発表がありました。展示コーナーでは手芸、編物、折紙、絵画など多彩な手作りの品で見る人を感じさせていました。また、販売コーナーでは近隣の福祉施設からアクセサリやお弁当・玉こんにゃく、「ひなたぼっこ石巻」から海産物、「里山林農元気村」からお米や野菜、お餅などの販売がありました。どれも品切れがでるほどの大盛況でした。

この「センター祭」は各サークル、ボランティアのみなさん、ぬくもりの

里各施設様ほか地域のみなさんの多大なるご協力で開催することが出来ました。ありがとうございました。



オープニングの銭太鼓の演舞はたくさんの拍手が響きました。

ひなたぼっこ石巻の販売



色鮮やかなフラダンス



多彩な手作りの品の展示コーナー

いずみいきいき会

手芸部のみなさんが泉中央老人福祉センターの玄関にあるイスに手作りのカバーを付けました。利用者さんや

職員からは「きれいな赤色ね」と大好評でした。

いずみいきいき会ではボランティアアさんを募集しています。

(ボランティアの問合せ)

仙台市泉中央老人福祉センター

いずみいきいき会 渡邊まで

電話022(373)1285



イスのカバーをプレゼントした
いずみいきいき会の手芸部のみなさん

小規模多機能型居るの庵ぐし

今年も敬老の日は、謎の女性?のキャサリンが登場し、ギター演奏と昭和歌謡を披露し、その後職員による歌と踊り、そしてみなでなつかしい歌を歌って楽しみました。



クリスマス会はサンタクロースの出現と利用者さんの息子さんも参加して歌を披露しました。最後に、利用者さんひとりひとりにプレゼントが渡されみなさん喜んでおりました。



居るの庵ぐしでは、利用者さん全員の避難訓練や消防署を招いて職員の緊急時の対応研修を行っています。また、利用者さんの状態に合わせたトイレ介助時の車いすの置き方考察なども都度行って、スタッフのスキルアップを行っています。



ひなたぼっこ石巻

元気サロンのクリスマス会は、みんなでハンドベルの演奏をしながら2025年の締めくくりと震災から

15年を迎える新しい年の安寧を祈って開催いたしました。お楽しみ抽選会のプレゼント、ハワイアンダンスの披露あり、風食は美味しいフラインドキンやクリームシチュー、フルーツ寒天など大好評でした。



元気サロンのクリスマス会を楽しむ
利用登録のみなさん

若林区

2025年8月30日、1年ぶりに茶話会を開催、参加者は11名、医学生や看護学生などのボランティア6名を含めて総勢24名の参加がありました。

日頃から歩行困難で出歩くことができない方が多く、毎日テレビを観ている、何もするようがない、退屈、3日も人と話さないでいたら言葉が出



学生さんとおしゃべりが
はすみ笑顔のみなさん

なくなつた、などと、参加者からはひとりの暮らしの状況が報告されました。学生さんからは高齢者の現状を知りたい、お話や関わりを持ちたいなど積極的な意見が出されました。出来るだけ若い人とお話をしていただきたかったので、若い方と高齢者が隣同士でおしゃべりしました。日ごろお話しできない参加者が沢山おしゃべりをする事が出来、帰りは楽しかった、またこんな機会を持てほしい、と感想が出されました。

人の話を聞くことも大事ですが、自分の話を聞いてもらうことが、元気の源かもしれません。

お茶やお菓子の準備、送迎にかかったスタッフに感謝です。また、春に茶話会が開けるように頑張りたいと思います。(文・福島)

泉西部地域福祉事業所

泉西部地域福祉事業所では、学びと交流で親睦を図っております。そこではお茶やおやつなどを持ち寄りながら、さまざまなおしゃべりをして、高齢者の声を集めています。

男女問わず一人暮らしの方が増えています。自ら積極的に地域交流をする人はとても元気ですね。

認知症つらい人も良く見かけるようになりました。地域でウォーキング等にお誘いし、散歩を毎週している団体もあるようです。

介護サービスをうまく利用できないでいる人もいます。自分で世話(介護)すると言っていますが、疲れないといいですね。

宅配弁当を利用している人を見かけます。足が不安定になると買い物が難しくなりますからね。

介護保険制度も改定しそうです、自己負担も増えそうです、どうなるのか？くれぐれも転倒には注意が必要ですね。

地域他団体と協力しながら見守り体制を考慮していきたいこと。またここに生きる喜びに感謝し、今だから出来ることを今後も見詰め続けたいです。

いものです。(文・永野)



学びと交流の場の様子

組合員を増やしましょう

宮城高齢協は組合員を募集中です。

◎出資金は10千円より

◎組合員に年齢制限はありません

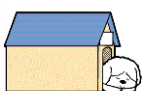
◎退会する時は出資金全額お返しいたします。



2026年1月7日現在
組合員数 1152名

*名取地区の組合員活動はお休みしております。

*「いつものクイズ」はお休みいたします。



あの人・この人紹介

「定年退職後からのマシヤン」

たかはし じゅんじ

【高橋紀武さん】 仙台市太白区

高橋さんは、タキシードに蝶ネクタイ、ちよっと伸ばした髭の風貌はマシヤンにピッタリです。指先の細かい手品から華やかな花びらが次々と登場するもの、大きな箱に入った人間が消えてしまつという大掛かりな手品までこなします。本当に圧巻でフロのような腕さばきです。手品の道員は自作の物があり、手作りの感が見えても楽しくなります。

卸商社の営業マンの仕事で65歳までやり、退職後は何か趣味をと考え「手品なら出来そうかな」と思い学びだしたそうです。

68歳で初舞台だった高橋さんは、みんなからの温かい拍手に感動し、「とても気分がよかった。その後の練習に力が入った」と語っています。「給料をもらって仕事をしていた時代より、今は拍手と歓声が一番うれしい。何よりの報酬です。」と語っています。

「下手だからしっかり練習しなければ」と「泉マシク愛好会」の

ある泉区まで月2回通っています。他に、太白区で毎週水曜日のウォーキングに参加し、姿勢よく歩くことを習慣化しようという心がけているそうです。なんとまたのもしい83歳です。

東日本大震災では、石巻へ、食料や水などをリュックに入れて知人などをまわり、津波にやられた家屋の絨毯はがしや泥かきなどのボランティアをしていたそうです。さすがにへとへとになり寝込んでしまったとか。それでも元気なうちは何かしなければと常に考えているようです。

マシクのボランティアを始めて、今では、敬老会の行事や介護・障害者施設では人気者の高橋さんです。

令和8年1月6日、いろいろ庵こぶしに登場。利用者さんは次々と出て来る花びらに目を凝らして「どうやってやるの？全然わからない」とホールに集まった利用者さんや職員からも驚きの声と大きな拍手をあげていました。現在は、仙台市泉中央老人福祉センターで「泉マシク愛好会」の活動と初心者向け「マシク教室」の指導者としても活躍中です。



さて、何か出てくるか？ お楽しみ！



いろいろ庵こぶしでのマジックショーの様子 新年を多彩なマジックで飾ってくれました

タキシードに蝶ネクタイの高橋紀武さん

「福祉相談」を受付しています

仙台市高森の丁目にあります「小規模多機能型居宅介護事業所いろいろ庵こぶし」では、福祉相談を受付しています。気軽に「ご相談ください」。

先般、みやぎ生協高森店にて、出張福祉相談会を開催しました。あいにくの雨模様でしたが、24名の方とお話できました。「介護している夫に怒鳴られる」「家事全般が大変になってきたので悩んでいる」などの声も聞かれました。ひとりで悩んでいても状況は変わりませんので、小さなことでも「ご相談ください」。

いろいろ庵こぶし相談窓口
電話 0222(779)6270
伊藤・小野寺・長尾まで



いろいろ庵こぶし正規スタッフ募集中

正規職員で8時間勤務の方募集。

介護資格がない方は働きながら資格取得を援助します。勤務時間などお気軽に「ご相談ください」。

電話 0222(779)6270

朝9時～夜6時 長尾・藤田まで